

平成24年(2012年)3月12日(月曜日)

「子どもものの心のケアを」

三島で東北復興シンポジウム 現地指導者ら語る

NPO法人グラウン
ドワーク三島は11日、
東北復興シンポジウム
を三島市社会福祉会館
で開いた。パネリスト
を務めた福島県いわき

市の中学教諭や、宮城
県石巻市のサッカー少
年団監督、児童合唱団
の指導者らは、自らの
被災体験を語るにも
に、遠い復興への道の

り、心のケアを必要
としている子どもたち
の現状を話した。
家族を三島市内に避
難させ、現在はいわき
市に単身で残る丹野秀

一郎同市立植田東中教
諭は「福島は耐えてい
る。学校現場では放射
能や線量を口にしま
ない。タブーではないが、
子どもたちに特技や遊

びに集中させようと
している」と話した。子
どもたちにはストレス
反応が出始めていて、
当時の映像を見ると泣
き出したりする子がい
るといふ。放射線量や
校庭の表面除去をめぐ
る保護者とのやりとり
なども語った。

石巻少年少女合唱隊
の千葉美貴子代表は
「先が見えない状況を
子ども自身が感じてい
る。心の疲れが心配」
と話した。石巻開北F
Cファンタジスタの小
野寺千代寿監督は「石
巻の復興には何十年と
かかる。復興の中心と
なる今の子どもたち
を、サッカーを通じて
元気にさせたい」と語
った。



李 東勲

石巻専修大学准教授

千葉 美貴子

石巻少年少女合唱隊代表

丹野 秀一郎 氏

いわき市立植田東中学校教育

被災地の子どもたちや高齢者の現状を語るパネリスト

三島市社会福祉会館